

家は、断熱性能UA値で家族の健康を買う時代。

<2021年度>

HEAT20 最高水準 **G3グレード**

# 省エネ大賞

(製品・ビジネスモデル部門) 主催:一般財団法人 省エネルギーセンター

**最高賞 経済産業大臣賞 受賞**

UA値  
**0.26**

C値  
**0.5以下**

## エネージュAF

HEAT20 G3 グレードの断熱性能と  
空気循環機能 Air フローシステムと  
太陽光発電5kW を搭載した  
ゼロエネルギーハウス



<住宅の断熱化は家族全員の健康につながります>

断熱住宅には様々な健康へのメリットがあります!

さらに! お子さまの健康・発育にも大きく影響されます!

### コレステロール値の低下

無関係に思えるコレステロール値は血管の健康状態が主な原因となり、室温が低いと血管収縮により動脈硬化等を引き起こします。

寒い住宅に住む人の総コレステロール値は、暖かい住宅に住む人の **2.6倍**



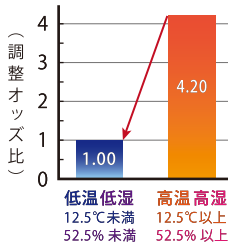
### 起床時の血圧が低下

起床時の血圧は最高・最低ともに低下します。室温が低い住宅より、室温の安定した住宅だと1日を通じて血圧が安定します。

最高血圧 **-3.5mmHg** 最低血圧 **-1.5mmHg**



### 病気によるリスク

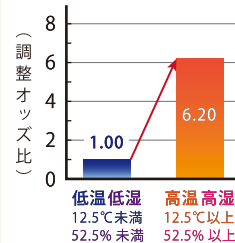


低温低湿の住宅に比べ

**約1/4**

お子さまが **病気にかかりにくい!**

### 身体活動量の違い

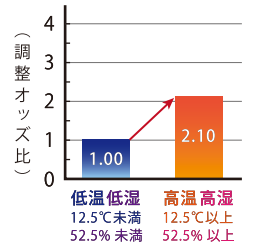


低温低湿の住宅に比べ

**約6倍**

お子さまが **活発になります!**

### 運動能力



低温低湿の住宅に比べ

**約2倍**

お子さまの **運動能力が向上!**

### 脳神経が2歳若返る

MRI画像の反応分析によると、室温の低い住宅では脳神経の働きが不活発になる傾向があります。室温の低い住宅より1℃高いと脳神経が2歳若くなるとされています。

1℃暖かいと脳神経が **2歳若い**  
5℃暖かい **10歳若い**



### 身体活動時間の増加

冬暖かく夏涼しい室内環境での1日活動時間量が増加し、筋力アップや脳への刺激につながります。

1日の活動時間アップ!

(男性)  
65歳未満+22.8分 65歳以上+34.7分  
(女性)  
65歳未満+27.0分 65歳以上+33.9分



断熱住宅はお子さまの健康を保つだけでなく、自宅での活動が活発になり運動能力が向上することで

**脳の発育**にも良いとされています。

※出典:国土交通省・厚生労働省 スマートウェルネス住宅等推進事業、一般社団法人日本サステナブル建築協会 発行/国土交通省・厚生労働省 協力「省エネで健康・快適な住まいづくりを!「省エネ住宅」と「健康」の関係をご存知ですか?」、内閣府 ImPACT「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現(山川義徳 PM)」のうち「脳情報クラウド(研究開発責任者:伊香賀俊治)」、慶應義塾大学 理工学部 伊香賀俊治研究室